

登録速報

農 薬 名：アトリ1キロ粒剤（登録番号：第 23114 号）

適用拡大登録月日：平成27年9月9日

適用拡大登録内容：

- 作物名「移植水稻」に適用雑草名「ビエ」、「ミズガヤツリ」、「ウリカワ」、「ヒルムシロ」、「セリ」を追加する。
- 作物名「移植水稻」の使用時期「移植後20日（稲5葉期以降）～収穫45日前まで」を「移植後20日（稲5葉期以降）～ビエ4葉期 但し、収穫45日前まで」に変更する。
- 適用土壌、適用地帯の区分を廃止する。

【変更後】

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法	ピリミスルファンを含む農薬の総使用回数
移植水稻	ビエ ミズガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ セリ オモダカ クログワイ シズイ コウキカウ	移植後20日 （稲5葉期以降） ～ノビエ4葉期 但し、 収穫45日前まで	1kg/10a	1回	湛水散布	2回以内
直播水稻	オモダカ クログワイ	稲5葉期 ～収穫45日前まで				

注意事項の変更：

【削除】

- 河川、湖沼、地下水等を汚染しないよう、落水、かけ流しはしないこと。

【変更後】

- 対象草種以外の雑草を防除するため、田植前後に使用する土壌処理除草剤との体系で使用する
- 本剤はノビエの4葉期までに有効なので、時期を失ないように散布すること。なお、生育期に入った雑草に効果があるが、雑草の生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に散布すること。ミズガヤツリは6葉期まで、ウリカワは4葉期まで、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生期まで、オモダカは発生盛期から矢尻葉3葉期まで、クログワイ、シズイ、コウキ

ヤガラは草丈30cm以下が本剤の散布適期である。

- オモダカ、クログワイ、シズイ、コウキヤガラに有効な前処理剤との組み合わせで使用することにより、より高い効果が得られる。
- 5葉期未満の稲に対しては薬害を生じるおそれがあるため、使用をさけること。
- 苗の植付けが均一となるように、代かきおよび植付作業はていねいにおこなうこと。未熟有機物を施用した場合は、特にていねいにおこなうこと。
- 散布の際は、水の出入りを止めて湛水状態のまま田面に均一に散布し、少なくとも散布後3～4日間は通常の湛水状態（水深3～5cm）を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないこと。また、入水は静かにおこなうこと。
- 以下のような条件下では薬害が発生するおそれがあるので使用をさけること。
 - 砂質土壌の水田および漏水田（減水深が2cm/日以上）。
 - 極端な浅植えの水田および浮き苗の多い水田。
- 直播水稻に使用する場合は以下に注意すること。
 - 稲の根が露出した条件では薬害を生じるおそれがあるので使用をさけること。
 - 除草効果の低下と生育抑制の薬害が発生するおそれがあるので、入水後水持ちの安定した後に散布すること。
- 梅雨時期等、散布後に多量の降雨が予想される場合は、除草効果が低下するおそれがあるので使用をさけること。
- 散布後の数日間に著しい高温が続く場合、初期生育が抑制されることがあるが、一過性のもので次第に回復し、その後の生育に対する影響は認められていない。
- 本剤を散布した水田の田面水を他の作物の灌水に使用しないこと。
- 本剤はその殺草特性から、いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は十分に注意すること。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用すること。特に初めて使用する場合や異常気象の場合には、病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

以 上